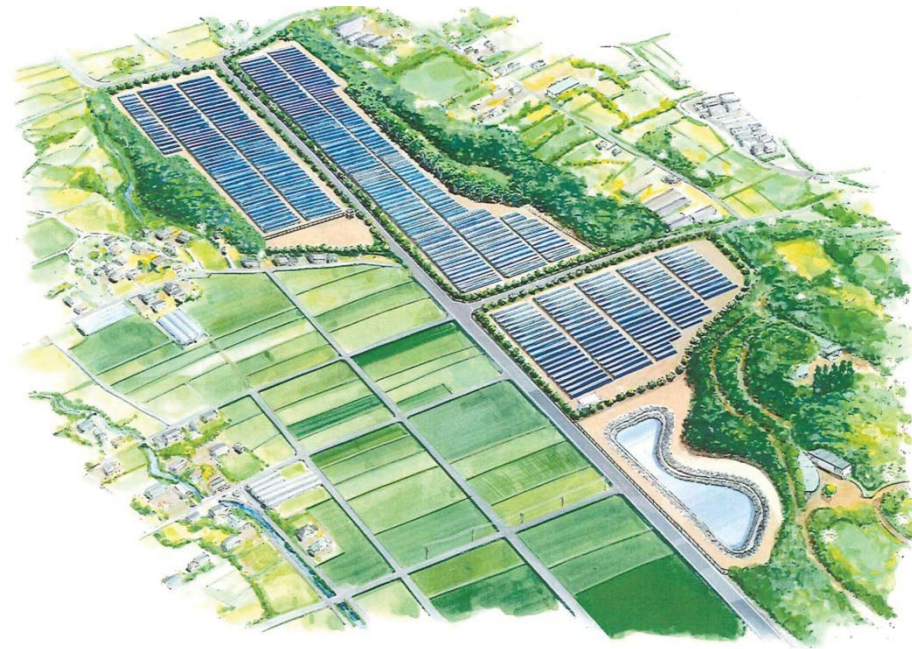


# 吉野ヶ里メガソーラー設置事業の概要



## 事業の目的

- 10年連続日本一の普及率を誇る住宅用太陽光発電のほか、事業所用やメガソーラーの普及に積極的に取り組み、太陽光王国「佐賀」の実現を目指します。
- メガソーラーについては、まずは「吉野ヶ里メガソーラー」を太陽光発電の象徴的な施設として事業を推進し、再生可能エネルギーの加速度的な普及を図ります。

## 計画概要

所在地	吉野ヶ里ニュー・テクノパーク跡地 (佐賀県神埼市神埼町)
敷地面積	25.6ha
パネル 設置面積	16.35ha
設置運営	NTTグループ・佐賀県企業等連合体 (NTTファシリティーズ、NTT西日本、 戸上電機、佐賀銀行、佐賀大学)
事業者	佐嘉吉野ヶ里ソーラー合同会社 (NTTファシリティーズ100%出資)
賃貸料	年額100円/㎡
出力規模	約12メガワット (約12,000kw)
推定発電 量	約1,285万kwh/年 (一般家庭約3,600世帯の消費電力量 に相当)
運転開始	平成25年6月末 (予定)
事業期間	20年間 (国の固定価格買取期間)
景観配慮	パネルの高さは約1.3m程度 施設の周辺には植栽を施す

## メガソーラーとは

- 太陽電池パネルを敷き詰めた大規模太陽光発電所のうち、一般家庭300世帯分をまかなえる出力1,000kw以上のものをいう。
- 広い土地を必要とし、天候により発電量が左右されるが、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーとして普及が期待されている。
- メガソーラーは構造がシンプルで建設期間が比較的短いため、加速度的な普及を図るうえで有効とされる。



## 波及効果

メガソーラーによる雇用は期待できませんが、以下のような波及効果が見込まれます。

### ①県・事業者による県内投資

- 県施工の「用地造成」「植栽・外構工事」等の県内業者への発注
- 事業者施工の「架台」「パネル設置」「変電設備工事」等の県内業者への発注配慮

### ②メガソーラー事業による収入

- 佐賀県：事業者からの土地リース料、法人事業税、法人県民税
- 神崎市：法人市民税、固定資産税（パネル等償却資産）  
除草作業等の地元への業務委託

### ③エネルギー関連産業の立地促進

- 産総研九州センターの太陽電池モジュール信頼性評価研究等との連携による技術革新
- 同研究等との連携による太陽電池、蓄電池メーカー等関連産業・研究機関の立地促進

### ④環境学習

- 子どもたちの修学旅行や社会見学、環境教育の場としての活用
- 吉野ヶ里歴史公園等の連携による相乗効果





## 歴史公園や周辺の景観への配慮

吉野ヶ里遺跡は、我が国最大規模の貴重な環濠集落跡であり、そのことも踏まえながら「吉野ヶ里メガソーラー設置事業」を進めてまいります。

①パネルは、神埼工業団地造成時に埋蔵文化財の発掘調査による記録保存措置（文化財保護法）を全て終えている「記録保存区域」に設置します。

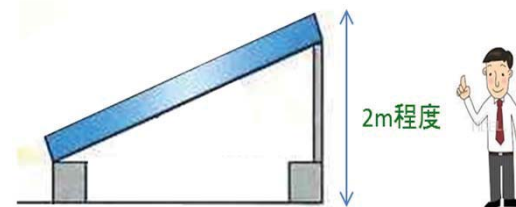
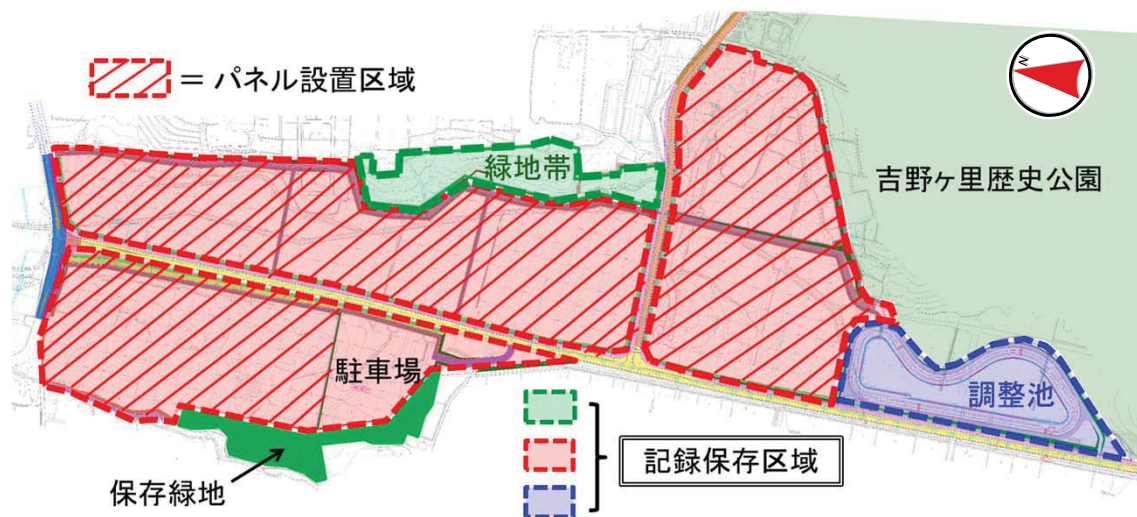
⇒このことについて県教委への協議を終えています（H24.1.31 教社文第3908号）

②埋蔵文化財が濃密な部分（西側の一部）は、事業用地として使用せずに「保存緑地」として管理します。

③架台設置工事については、以下のような措置を事業者に求めています。

- ・記録保存文化財にも影響が少ないよう、基礎工事はパイル等で深く掘り下げない
- ・周辺の景観にも配慮するため、パネルの高さも低く抑える

④県においても、歴史公園や周辺景観に配慮するため、周囲に樹木植栽を行います。



## 吉野ヶ里メガソーラー設置事業スケジュール（予定）

